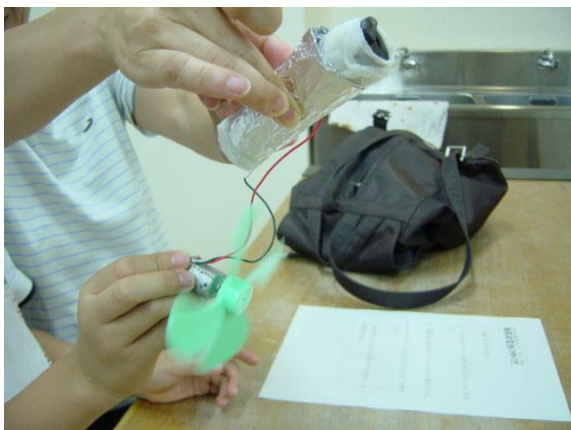


「わくわく科学実験教室～科学手品とポンポン船～」

を開催しました

平成22年8月25日、香川県サイエンス・ボランティアの草薙 治夫さんを講師にお迎えしました。

まずは科学手品から。コップなどガラスの器に水を入れて、紙・ピンポン玉・網・ガーゼそれぞれでふたをして逆さまにします。すると、水の表面張力や大気圧によって水が下に流れません。また、1円玉と同じ大きさの穴を開けた布に500円玉を通しました。身近にある材料を使って不思議な科学の世界を体験することができました。



続いては備長炭電池を作りました。備長炭に飽和食塩水をしみこませたキッチンペーパーとアルミはくを巻いただけですが、モーターの導線を備長炭の端とアルミはくにつけると、プロペラが勢いよく回っていました。

最後にポンポン船を作りました。発泡スチロールで作った土台にアルミのパイプを通してろうそくを乗せ、炎でパイプを熱することによって、船が水の上をはしります。

夏休みの1日、楽しみながら科学を身近に感じられた講座でした。

